

〔評価結果の公表様式〕

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関情報

評価機関名： 特定非営利活動法人あいち福祉アセスメント (認証番号 19地福第4073-1号)
訪問調査 実施日： 平成21年11月11日(水)

②事業者情報

名称:(法人名) 社会福祉法人知多学園 (施設名) 知多学園 八波寮	種別:(施設種別) 児童養護施設 (基準の種別) 児童福祉施設入所版(児童養護施設)
代表者氏名:(施設長) 石川 琢次	定員(利用人数): 38 名
所在地:〒479-0846 愛知県常滑市末広町2-1	TEL 0569-35-2646

③総評

◇特に評価の高い点

時代や社会が変化していく中で半世紀余りにわたって子どもを愛し、守り、援助してきた八波寮の歴史の深さと八波に期待される使命を感じさせられる。昨年度途中に施設長が代わり、今回は新たなるスタートから一年弱ではあるが、「子ども主体」とする施設長の理念に基づいた運営状況を評価した。

- ・八波寮の理念や運営方針を見直し、実現化に向けた長・中期計画を明確に示し、福祉サービス内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成の視点から職員が一丸となり取り組み、必要において施設長の指導性が発揮され、利用者や保護者、地域や関係諸機関にも良好な影響を及ぼしている。

- ・利用者の安全や安心を第一に考え、住環境の整備に関するリストを作成し改善に力を入れ、また、耐震工事に伴う厨房、食道、浴室などの改修工事も順調に進み、「八波は自分の家」とする子どもの期待感が伺われる。

- ・会議体制の活性化やハンドブック方式による情報の共有化、法人のみならず関係諸機関の人材を巻き込み職員の意識改革に向けたペイフォワード内部研修の充実化を図るなど人材育成にも寄与している。また、新人育成には、プリセプター方式を導入し他の職員と連携して成果を構築している。

- ・基礎学力プロジェクトを立ち上げ、宿題や八波日記の取組みを行い、学習に馴染む環境や図書環境も整備している。また、職場実習や体験など施設長自ら開拓し、自立支援の機会の拡大に取り組んでいる。

- ・地域や関係諸機関との連携や人材活用を積極的に取り組み、能動的な関係作りが整いつつある。

◇改善を求められる点

- ・施設長の基本構想や運営方針について職員との意識や理解度に関心が感じとられるので、職員の自主的気付きの期待と施設長の主導性を調整し、共通理解や周知徹底を図っていくことを望みたい。

- ・質の高いサービスの提供を継続していくために施設の現状を分析し、法人本部との連携を密にし、「子ども主体」のサービスが提供でき得る質の高い人材及び、男女比を考慮した人材の確保を願いたい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度は、「子ども主体」を最優先にし、「今、行っている事業は子どもの為になっているか」を念頭に運営をしてきました。また、地域の方々とも触れ合う機会をたくさん頂けたことを感謝いたしております。昨年掲げたチームワーク(全員一丸)も軌道に乗ってきました。今回の評価結果を職員で共有し、一歩いっぽ努力を重ねながら、誰からも愛される施設運営を目指していきたいと考えています。

⑤評価細目(項目)の第三者評価結果(別添)

(別添)

評価項目(細目)の評価結果(児童養護施設)

※すべての評価細目(89項目)について、判断基準(の3段階)に基づいた評価結果を表示する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

			第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	見入 1	㉑ ・ b ・ c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	見入 2	㉑ ・ b ・ c
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	見入 3	㉑ ・ b ・ c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	見入 4	a ・ ㉑ ・ c

I-2 計画の策定

			第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	見入 5	㉑ ・ b ・ c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	見入 6	㉑ ・ b ・ c
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。			
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	見入 7	㉑ ・ b ・ c
I-2-(2)-②	計画が職員や利用者等に周知されている。	見入 8	a ・ ㉑ ・ c

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

			第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	見入 9	㉑ ・ b ・ c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	見入 10	㉑ ・ b ・ c

I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	見入 11	㉖ ・ b ・ c
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	見入 12	㉖ ・ b ・ c

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

			第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	見入 13	㉖ ・ b ・ c
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	見入 14	a ・ ㉖ ・ c
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	見入 15	㉖ ・ b ・ c

Ⅱ-2 人材の確保・養成

			第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
	Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	見入 16	㉖ ・ b ・ c
	Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	見入 17	a ・ ㉖ ・ c
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	見入 18	㉖ ・ b ・ c
	Ⅱ-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	見入 19	a ・ ㉖ ・ c
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
	Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	見入 20	㉖ ・ b ・ c
	Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	見入 21	㉖ ・ b ・ c
	Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	見入 22	a ・ ㉖ ・ c
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
	Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	見入 23	㉖ ・ b ・ c
	Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	見入 24	㉖ ・ b ・ c

II-3 安全管理

		第三者評価結果		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。				
II-3-(1)-① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	見入 25	a	ⓑ	c
II-3-(1)-② 施設として火災や震災への対応は適切である。	見入 26	a	ⓑ	c
II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	見入 27	a	ⓑ	c

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。				
II-4-(1)-① 利用者と地域との関わりを大切にしている。	見入 28	Ⓐ	b	c
II-4-(1)-② 施設が有する機能を地域に還元している。	見入 29	Ⓐ	b	c
II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	見入 30	Ⓐ	b	c
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。				
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	見入 31	Ⓐ	b	c
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	見入 32	Ⓐ	b	c
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。				
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	見入 33	a	ⓑ	c
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	見入 34	Ⓐ	b	c

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。				
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	見入 35	Ⓐ	b	c
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	見入 36	Ⓐ	b	c
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。				
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	見入 37	Ⓐ	b	c
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上昇に向けた取組を行っている。	見入 38	Ⓐ	b	c

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
	Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	見入 39	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	見入 40	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	見入 41	a ・ Ⓑ ・ c

Ⅲ-2 サービスの質の確保

			第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	見入 42	a ・ Ⓑ ・ c
	Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	見入 43	a ・ Ⓑ ・ c
	Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	見入 44	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
	Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	見入 45	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	見入 46	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	見入 47	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	見入 48	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	見入 49	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

			第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
	Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	見入 50	a ・ Ⓑ ・ c
	Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	見入 51	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
	Ⅲ-3-(2)-① 施設の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	見入 52	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果	
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	児入 53	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	児入 54	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	児入 55	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	児入 56	a ・ ㉞ ・ c

Ⅲ-5 児童養護施設の固有サービス

		第三者評価結果	
Ⅲ-5-(1) 利用者を尊重している。			
Ⅲ-5-(1)-①	子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考える活動(施設内の自治会活動等)を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	児 57	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-②	施設の行う援助について事前に説明し、子どもが主体的に選択(自己決定)できるように支援している。	児 58	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-5-(1)-③	多くの生活体験を積ませる中で、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、健全な自己の成長や問題解決力を形成できるように支援している。	児 59	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-5-(1)-④	多くの人たちとのふれあいを通して、子どもが人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重し共生ができるよう支援している。	児 60	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑤	子どもの発達に応じて、本人の出生や生い立ち、家族の状況等について、子どもに適切に知らせている。	児 61	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑥	体罰を行わないよう徹底している。	児 62	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑦	子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる。	児 63	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑧	子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障されている。	児 64	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2) 援助の基本が適切に行われている。			
Ⅲ-5-(2)-①	子どもと職員との間に信頼関係を構築し、常に個々の子どもの発達段階や課題に考慮した援助を行っている。	児 65	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-5-(2)-②	子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	児 66	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-5-(3) 食生活の支援が適切に行われている。			
Ⅲ-5-(3)-①	食事を美味しく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を払っている。	児 67	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-②	子どもの生活時間にあわせた食事の時間が設定されている。	児 68	a ・ ㉞ ・ c
Ⅲ-5-(3)-③	発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を適切に行っている。	児 69	a ・ ㉞ ・ c

Ⅲ-5-(4) 衣生活の支援が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(4)-① 衣類は清潔で、体に合い、季節にあったものを提供している。	児 70	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(4)-② 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように援助している。	児 71	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(5) 住生活の支援が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(5)-① 居室等施設全体が生活の場として安全性や快適さに配慮したものになっている。	児 72	a ・ ㉠ ・ c
	Ⅲ-5-(5)-② 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう援助している。	児 73	a ・ ㉠ ・ c
Ⅲ-5-(6) 衛生管理、健康管理、安全管理が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(6)-① 発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している。	児 74	a ・ ㉠ ・ c
	Ⅲ-5-(6)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	児 75	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(7) 問題行動に対する対応が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(7)-① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に適切に対応している。	児 76	a ・ ㉠ ・ c
	Ⅲ-5-(7)-② 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	児 77	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(7)-③ 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。	児 78	a ・ ㉠ ・ c
Ⅲ-5-(8) 自主性、自律性を尊重した日常生活の支援が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(8)-① 行事などのプログラムは、子どもが参画しやすいように計画・実施されている。	児 79	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(8)-② 休日等に子どもが自由に過ごせるよう配慮している。	児 80	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(8)-③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	児 81	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(8)-④ 子どもが友人や地域との関係を深められるよう支援している。	児 82	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(9) 学習支援、進路指導等が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(9)-① 学習環境の整備を行い学力に応じた学習支援を行っている。	児 83	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(9)-② 学校を卒業する子どもの進路について、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう援助している。	児 84	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(9)-③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	児 85	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(9)-④ 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	児 86	㉠ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(10) メンタルヘルスが適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(10)-① 被虐待児など心理的なケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	児 87	a ・ ㉠ ・ c
Ⅲ-5-(11) 家族とのつながりの支援が適切に行われている。			
	Ⅲ-5-(11)-① 児童相談所等と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制づくりができています。	児 88	㉠ ・ b ・ c
	Ⅲ-5-(11)-② 子どもと家族の関係づくりのために面会、外出、一時帰省などを積極的に行っている。	児 89	㉠ ・ b ・ c